

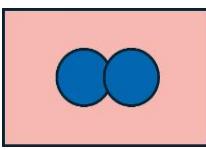
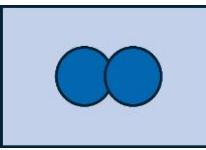
「染方史郎の 楽しく覚えず好きになる 感じる細菌学×抗菌薬」訂正のお知らせ

ご購入いただきました「染方史郎の 楽しく覚えず好きになる 感じる細菌学×抗菌薬」（2020年2月発行）におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2025年12月

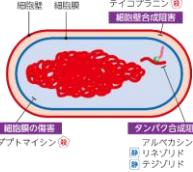
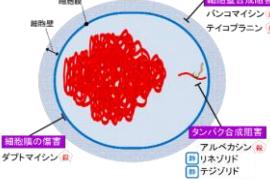
※(●)印：肺炎マイコプラズマ(*Mycoplasma pneumoniae*)を「通性細胞内増殖菌」（宿主の細胞内で増殖する菌で、特に人工培地でも増殖可能なもの）と記載していますが、*M. pneumoniae*は細胞内増殖菌ではありません

【正誤表】

刷数	頁数	該当箇所	内容		書籍版 反映刷数	電子書籍 訂正	登録日
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 第5刷 電子版	13頁	上から7行目	誤	れますが、一般的には真正細菌を指し、…		未	2025.10.27
				正 れますが、 細菌といえば 一般的には真正細菌を指し、…			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 第5刷 電子版	24頁	図5	誤			未	2025.03.28
				正 			
				※球菌の上から2つ目の背景色は赤ではなく青			
第1刷 第2刷	27頁	下から1行目 (●)	誤	前者の代表として、 肺炎マイコプラズマ (<i>Mycoplasma pneumoniae</i>) とレジオネラ・ニューモフィラ (<i>Legionella pneumophila</i>)		第3刷	済
				正 前者の代表として レジオネラ・ニューモフィラ (<i>Legionella pneumophila</i>)			
第1刷 第2刷 電子版	28頁	図7 右下	誤	空気がないと 生きられない（発酵する）		第3刷	未
				正 空気がなくても 生きられる（発酵する）			
第1刷 第2刷 電子版	39頁	下から6行目	誤	個体培地があります。		第3刷	未
				正 固体培地があります。			
第1刷 第2刷 電子版	43頁	ちょっと横道 下から3~2行目	誤	POCT (Point of Care <u>Treatment</u>)		第3刷	未
				正 POCT (Point of Care Testing)			
第1刷 第2刷 電子版	93頁	図7 タイトル	誤	血球成分の 文化		第3刷	未
				正 血球成分の 分化			
第1刷 第2刷 電子版	94頁	12~13行目	誤	eosinは酸性の 物質を染める 色素		第3刷	未
				正 eosinは 酸性の色素			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 第5刷 電子版	103頁	下から3~4行目	誤	TCRはMHC <u>class II</u> と結合します。		未	2025.12.11
				正 TCRはMHC 分子 と結合した 抗原ペプチド を認識します。			

「染方史郎の 楽しく覚えず好きになる 感じる細菌学×抗菌薬」訂正のお知らせ

【正誤表】

刷数	頁数	該当箇所	内容		書籍版 反映刷数	電子書籍 訂正	登録日
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版	106頁	下から1行目	誤 免疫原性はありません			未	2022.05.16
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版				正 免疫原性はありません ※赤字を追加			
第1刷 第2刷	116頁	上から6行目 (●)	誤 <i>M. pneumoniae</i> , <i>L. pneumophila</i> は通性細胞内増殖菌 (人工培地でも培養可能),			済	2021.03.09
第1刷 第2刷				正 <i>L. pneumophila</i> は通性細胞内増殖菌 (人工培地でも培養可能),			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版	134頁	下から9~8行目	誤 ブドウ球菌性 トキシックショック症候群 (staphylococcal toxic shock syndrome ; STSS)			未	2021.09.21
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版				正 トキシックショック症候群 (toxic shock syndrome ; TSS) ※赤字部分を削除			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版	135頁	囲みの文章の下から3行目	誤 STSS			未	2021.09.21
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版				正 TSS ※赤字部分を削除			
第1刷	136頁	図7	誤 penisillin			済	2021.03.09
第1刷				正 penicillin			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版	140頁	図9	誤  図9 抗MRSA薬の作用メカニズム			未	2021.09.21
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版				正  図9 抗MRSA薬の作用メカニズム			
第1刷	153頁	図1 右側	誤 呼気時に			済	2021.03.09
第1刷				正 吸気時に			
第1刷	160頁	ページ中段 囲み内 1行目	誤 凝集付着性大腸菌			済	2021.03.09
第1刷				正 腸管凝集付着性大腸菌 ※赤字を追加			

「染方史郎の 楽しく覚えず好きになる 感じる細菌学×抗菌薬」訂正のお知らせ

【正誤表】

刷数	頁数	該当箇所	内容		書籍版 反映刷数	電子書籍 訂正	登録日
第1刷 第2刷 電子版	179頁	4~6行目	誤	このようにNAG ピブリオはもともとO1 ではないV. cholerae のことを指していましたが、現在はコレラ毒素 をもたないV. choleraeの意味で用いられるようになってい ます。_	第3刷	未	2021.03.09
				正 (削除)			
第1刷 第2刷 電子版	179頁	9行目	誤	cholerae のみをコレラ菌とよんでいます。	第3刷	未	2021.03.09
				cholerae のみをコレラ菌とよんでいます。したがって、 コレラ毒素をもたないO1やO139は、NAGピブリオと同程 度に扱われています。 ※赤字の追加			
第1刷 第2刷 電子版	179頁	表2 血清型の行 NAGピブリオの列	誤	すべて	第3刷	未	2021.03.09
				正 非O1			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版	187頁	ちょっと横道 下から3行目 文献番号	誤	baumanniiが確認されました ¹⁾	第5刷	未	2021.09.21
				正 baumanniiが確認されました ²⁾			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版	188頁	8行目 文献番号	誤	や出血性肺炎の原因となります ^{2), 3)}	第5刷	未	2021.09.21
				正 や出血性肺炎の原因となります ^{3), 4)}			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版	188頁	下から6行目 「ちょっと横道」内	誤	鼻祖と類鼻疽	第5刷	未	2022.05.16
				正 鼻疽と類鼻疽			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版	189頁	下から6行目 文献番号	誤	種名が pseudo (偽の) + mallei になっています ^{4), 5)}	第5刷	未	2021.09.21
				正 種名が pseudo (偽の) + mallei になっています ^{5), 6)}			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 第5刷 電子版	226頁	下から3行目	誤	ブタ炭疽菌	未	未	2025.03.28
				正 豚丹毒菌			
第1刷	259頁	2 尿素呼気試験 1 行目	誤	数時間後に呼気中の	第2刷	済	2021.03.09
				正 30分後に呼気中の			

「染方史郎の 楽しく覚えず好きになる 感じる細菌学×抗菌薬」訂正のお知らせ

【正誤表】

刷数	頁数	該当箇所	内容		書籍版 反映刷数	電子書籍 訂正	登録日
第1刷 第2刷 電子版	260頁	「ちょっと横道」 下から4行目	誤	ピロリ菌は胃の萎縮に関係していますが、除菌をすると食道がんの発生が上昇することが報告されています。	第3刷	未	2021.03.09
			正	ピロリ菌は萎縮性胃炎の発生に関与しており、食道がんのリスクが下がるという報告があります。			
第1刷 第2刷	274頁	本文 下から5行目 (●)	誤	すべて細胞内増殖性ではあります、 <i>Mycoplasma pneumoniae</i> や <i>Legionella pneumophila</i> は人工培地での培養も可能です。	第3刷	済	2021.03.09
			正	本項で解説する細菌は、 <i>Mycoplasma pneumoniae</i> を除き細胞内増殖性ですが、 <i>Legionella pneumophila</i> は人工培地での培養も可能です。			
第1刷 第2刷	275頁	第2章-10（非定型菌） の見出し（●）	誤	A 通性細胞内増殖菌 <i>A-a Mycoplasma pneumoniae</i> (肺炎マイコプラズマ)	第3刷	済	2021.03.09
			正	A マイコプラズマ、レジオネラ <i>A-a Mycoplasma pneumoniae</i> (肺炎マイコプラズマ)			
第1刷 第2刷 第3刷 電子版	290頁	表1 最左列 下から5行目	誤	デジゾリド	第4刷	未	2021.03.09
			正	テジゾリド			
第1刷 第2刷 第3刷 電子版	298頁	上から2行目	誤	セファゾリン（セファメジン®α）cefazin e	第4刷	未	2021.03.09
			正	セファゾリン（セファメジン®α）cefazin ※赤字を削除			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 電子版	338頁	第2章-2C		※文献1)を追加し、以降、文献番号を1つずつ繰り下げ 1) Shimono N, et al : An outbreak of <i>Pseudomonas aeruginosa</i> infections following thoracic surgeries occurring via the contamination of bronchoscopes and an automatic endoscope reprocessor. <i>J Infect Chemother</i> , 14 : 418-423, 2008	第5刷	未	2021.09.21
第1刷 第2刷 第3刷 電子版	341頁	右段 上から11行目	誤	point of care <i>treatment</i>	第4刷	未	2021.03.09
			正	point of care <i>testing</i>			
第1刷 第2刷 第3刷 第4刷 第5刷 電子版	見返し (表紙側)	下から1行目	誤	ブタ炭疽菌	未	未	2025.03.28
			正	豚丹毒菌			
第1刷 第2刷 電子版	見返し (裏表紙側)	細菌分類表 (●)	誤	10 非定型菌 A 通性細胞内増殖菌 a. マイコプラズマ <i>Mycoplasma</i> 属	第3刷	済	2021.03.09
			正	10 非定型菌 A マイコプラズマ、レジオネラ a. マイコプラズマ <i>Mycoplasma</i> 属			

(最終更新日：2025年12月11日)